

平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）



平成25年11月8日

上場会社名 高松機械工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6155 URL <http://www.takamaz.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高松 喜与志
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 溝口 清 (TEL) 076-274-0123(代表)
 四半期報告書提出予定日 平成25年11月13日
 配当支払開始予定日 平成25年12月6日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有(アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	6,472	△12.7	267	△58.9	351	△50.7	228	△55.7
25年3月期第2四半期	7,410	17.2	651	365.1	711	315.8	516	408.8

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 396百万円(△21.9%) 25年3月期第2四半期 506百万円(433.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	20.99	20.89
25年3月期第2四半期	47.46	47.17

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第2四半期	16,595	9,880	59.5
25年3月期	16,499	9,560	57.9

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 9,870百万円 25年3月期 9,551百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	5.00	—	7.00	12.00
26年3月期	—	4.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	6.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	14,674	△2.3	916	△15.1	1,039	△16.4	677	△22.0	62.18

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

業績予想の修正につきましては、本日(平成25年11月8日)公表しました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	26年3月期2Q	11,020,000株	25年3月期	11,020,000株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	121,629株	25年3月期	121,629株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	26年3月期2Q	10,898,371株	25年3月期2Q	10,888,037株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、円安や輸出の持ち直しで大企業を中心に収益が改善傾向にあり、また企業の設備投資も徐々に活性化し始めるなど景気回復傾向が持続する中、2020年の東京オリンピック開催が決定し、更なる景気改善に期待感が高まりました。

工作機械業界におきましては、特に内需が前月比で5ヶ月連続の増加を記録するなど堅調に推移しております。業界受注総額では前年同月比17ヶ月連続の減少となっているものの、平成25年9月の単月受注が1年ぶりに1,000億円を超え、回復傾向にあります。

このような状況の中で、当社グループの当第2四半期連結累計期間の連結売上高は64億72百万円と、前年同期に比べ9億37百万円(12.7%減)の減収となり、営業利益は2億67百万円(前年同期比58.9%減)、経常利益は3億51百万円(同50.7%減)、四半期純利益は2億28百万円(同55.7%減)となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

工作機械事業

工作機械事業におきましては、需要拡大が見込まれる海外市場への対応強化による市場シェアの拡大と生産の増強及び効率化に取り組んできました。

中国では、当社とグループ会社の喜志高松貿易(杭州)有限公司及び杭州友嘉高松機械有限公司の3社が協力し、市場シェアの拡大に努めてきました。また、杭州友嘉高松機械有限公司が新工場に移転しました。最大生産能力がこれまでの工場の4倍以上になり、中国市場の需要拡大に対応していきます。

インドネシアでは、需要の高まりに対応して販売活動及び迅速なサービス・メンテナンスを行うため、現地法人を平成25年4月に設立しました。現在は輸入ライセンス取得手続きを進めております。

ヨーロッパでは、平成25年9月にドイツで開かれたEMO2013に出展しました。ようやく景況感が上向きつつある中で、製品の積極的アピールによって引合・受注を確保しました。

その他、販売体制の拡充を進め、各海外拠点の増員や現地ディーラーの新規開拓を行ってきました。

国内市場では、ユーザに最適な加工方法と自動化ラインを提案する提案型営業を推進することで、特に海外進出を進める大手ユーザからの受注獲得をはかってきました。また、設備の老朽化が進むユーザに対する更新需要の掘り起こしに努めてきました。

生産におきましては、本社工場を増築させて組立スペースを拡張するとともに、板金部門に高性能レーザー加工機を導入し、生産能力拡大をはかりました。物流面でも、新規導入した2基の大型立体自動倉庫の有効活用による物流効率化と適切な在庫管理を進めてきました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における工作機械受注高は60億78百万円(前年同期比0.3%減)となり、工作機械受注残高は50億78百万円(同6.7%増)となりました。

売上高におきましては、依然として国内市場の中小企業では設備投資に慎重な状況が続いていることから、57億67百万円(同15.8%減)となり、その内訳は、内需26億35百万円(同34.6%減)、外需31億32百万円(同11.0%増)、外需比率54.3%(前年同期は41.2%)であります。また、営業利益は2億61百万円(前年同期比59.9%減)となりました。

IT関連製造装置事業

IT関連製造装置事業におきましては、中国経済が鈍化している影響を受けて厳しい状況にありましたが、新規開拓も含めた積極的な営業活動を推進し、受注の確保に努めてきました。また、低調だった半導体需要によりやく底打ち感が見られ始めたことで、引合が増加傾向に転じてきました。

この結果、売上高は2億90百万円(前年同期比24.6%増)となり、営業損失は20百万円(前年同期は10百万円の営業損失)となりました。

自動車部品加工事業

自動車部品加工事業におきましては、北米の自動車生産回復を背景に堅調な受注があり、売上高は計画を上回って推移してきました。また、将来的な規模拡大のため、新規受注の獲得や新規取引先の開拓もはかってきました。

この結果、売上高は4億14百万円(前年同期比27.6%増)となり、営業利益は26百万円(同184.4%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

① 資産

当第2四半期連結会計期間末の総資産は165億95百万円となり、前連結会計年度末に比べて、96百万円増加しました。

その主な要因としましては、受取手形及び売掛金が4億37百万円減少したものの、たな卸資産が3億15百万円、有形固定資産が70百万円、投資その他の資産が1億53百万円増加したことによるものです。

② 負債

当第2四半期連結会計期間末の負債は67億15百万円となり、前連結会計年度末に比べて、2億23百万円減少しました。

その主な要因としましては、短期借入金が1億19百万円、長期借入金が3億91百万円増加したものの、未払法人税等が2億64百万円、その他(設備関係支払手形、未払金等)が5億38百万円減少したことによるものです。

③ 純資産

当第2四半期連結会計期間末の純資産は98億80百万円となり、前連結会計年度末に比べて、3億19百万円増加しました。

その主な要因としましては、利益剰余金が1億52百万円、為替換算調整勘定が1億44百万円増加したことによるものです。なお、自己資本比率は59.5%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

- ① 営業活動によるキャッシュ・フローは、2億38百万円の資金流入(前年同期は1億80百万円の資金流出)となりました。

その主な要因としましては、たな卸資産の増加や法人税等の支払等があったものの、税金等調整前四半期純利益の計上や売上債権の減少等があったことによるものです。

- ② 投資活動によるキャッシュ・フローは、11億35百万円の資金流出(前年同期は90百万円の資金流入)となりました。

その主な要因としましては、有形固定資産の取得による支出や定期預金の預入による支出等があったことによるものです。

- ③ 財務活動によるキャッシュ・フローは、4億18百万円の資金流入(前年同期は95百万円の資金流出)となりました。

その主な要因としましては、長期借入金の返済による支出や配当金の支払等があったものの、長期借入れによる収入があったことによるものです。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、4億26百万円の資金流出(前年同期は1億82百万円の資金流出)となり、当第2四半期連結累計期間末残高は14億80百万円(前年同期は14億71百万円)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、当第2四半期連結累計期間の業績及び今後の業界動向を勘案し、平成25年5月10日に公表しました平成26年3月期の通期業績予想を修正しました。

詳細につきましては、平成25年11月8日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,336	3,301
受取手形及び売掛金	5,111	4,673
商品及び製品	455	477
仕掛品	768	1,063
原材料及び貯蔵品	779	778
その他	322	360
貸倒引当金	△4	△4
流動資産合計	10,769	10,650
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,453	1,445
土地	2,326	2,326
その他(純額)	722	801
有形固定資産合計	4,502	4,573
無形固定資産		
	113	105
投資その他の資産		
その他	1,114	1,267
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	1,113	1,266
固定資産合計	5,729	5,945
資産合計	16,499	16,595

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,005	3,026
短期借入金	829	948
未払法人税等	378	114
賞与引当金	115	180
役員賞与引当金	31	15
製品保証引当金	31	24
その他	982	443
流動負債合計	5,375	4,753
固定負債		
長期借入金	668	1,059
退職給付引当金	497	498
役員退職慰労引当金	300	317
その他	98	85
固定負債合計	1,563	1,961
負債合計	6,938	6,715
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,835	1,835
資本剰余金	1,822	1,822
利益剰余金	5,849	6,002
自己株式	△49	△49
株主資本合計	9,458	9,610
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	49	72
繰延ヘッジ損益	0	0
為替換算調整勘定	42	187
その他の包括利益累計額合計	93	259
新株予約権	7	7
少数株主持分	1	1
純資産合計	9,560	9,880
負債純資産合計	16,499	16,595

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	7,410	6,472
売上原価	5,488	4,866
売上総利益	1,921	1,605
販売費及び一般管理費	1,270	1,338
営業利益	651	267
営業外収益		
受取利息	0	1
受取配当金	3	4
再生物売却収入	4	6
持分法による投資利益	39	48
為替差益	7	15
その他	14	14
営業外収益合計	70	91
営業外費用		
支払利息	7	7
保険解約損	2	—
その他	0	0
営業外費用合計	9	8
経常利益	711	351
特別利益		
固定資産売却益	0	1
投資有価証券売却益	0	—
新株予約権戻入益	46	—
特別利益合計	47	1
特別損失		
固定資産除却損	0	1
投資有価証券評価損	1	—
特別損失合計	1	1
税金等調整前四半期純利益	757	351
法人税、住民税及び事業税	262	126
法人税等調整額	△21	△4
法人税等合計	240	122
少数株主損益調整前四半期純利益	517	228
少数株主利益	0	0
四半期純利益	516	228

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	517	228
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△15	22
繰延ヘッジ損益	△0	△0
為替換算調整勘定	1	66
持分法適用会社に対する持分相当額	4	78
その他の包括利益合計	△10	167
四半期包括利益	506	396
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	506	395
少数株主に係る四半期包括利益	0	0

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	757	351
減価償却費	148	160
退職給付引当金の増減額(△は減少)	10	1
貸倒引当金の増減額(△は減少)	0	△0
賞与引当金の増減額(△は減少)	54	64
受取利息及び受取配当金	△4	△5
支払利息	7	7
投資有価証券評価損益(△は益)	1	—
新株予約権戻入益	△46	—
売上債権の増減額(△は増加)	△124	471
たな卸資産の増減額(△は増加)	△592	△294
仕入債務の増減額(△は減少)	△292	△13
その他	△51	△109
小計	△130	634
利息及び配当金の受取額	4	5
利息の支払額	△7	△7
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△46	△393
営業活動によるキャッシュ・フロー	△180	238
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△50	△742
有形固定資産の売却による収入	—	1
投資有価証券の取得による支出	△2	△7
定期預金の預入による支出	△2,440	△3,605
定期預金の払戻による収入	2,571	3,215
その他	12	3
投資活動によるキャッシュ・フロー	90	△1,135
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	—	600
長期借入金の返済による支出	△49	△89
配当金の支払額	△54	△76
リース債務の返済による支出	△8	△15
ストックオプションの行使による収入	17	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△95	418
現金及び現金同等物に係る換算差額	3	51
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△182	△426
現金及び現金同等物の期首残高	1,654	1,906
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,471	1,480

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。